

第4回男女共同参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時：平成19年11月7日（水）午後3時～午後5時
- 2 会 場：宇都宮市役所 第2委員会室
- 3 出席者：山口委員，宇田川委員，横松委員，砂長委員，渡辺委員，杉山委員，谷津委員，佐藤委員，小林委員，添田委員，小嶋委員，大野委員，手塚委員
- 4 傍聴者：0人
- 5 会議経過：
 - (1)開会
 - (2)議事
 - ①報告事項 第3回男女共同参画審議会会議録（概要）について
 - 会議録の公開を了承
 - ②審議事項「(仮称)第2次男女共同参画行動計画」の計上施策事業案について
 - 事務局から，資料1，2，参考資料に基づいて説明。

【各委員からの意見等】

(会長)

事務局の説明事項について，質問，意見をお願いしたい。

(委員)

7ページの事業番号15 重点事業 事業者訪問の実施について，どのように事業者を選定するのか伺いたい。

(事務局)

詳細は決まっていないが，中小企業を中心に訪問したいと考えている。

(委員)

ときめく未来へ参画会議の中で，「働くこと」をテーマに分科会を実施した。その中の参加者の女性で，「再就職のときに2人目の子ができて大変だった。2人目の壁が大きかった。」という話を聞いた。それに関連するかと思うが，「今，働いている勤務先が，自分のライフスタイルを理解してくれていてとても働きやすい，感謝している。」ということを通じていた。その辺のところ，事業者訪問等の事業を具体的に進めていく上でのヒントになるのではないかと思った。今，うまくやっている人のアイデアを取り入れることがいいのではないかと思う。

子育ての支援活動を，表参道スクエアでやるなど，面白いアイデアであると思う。もし，子育てしている立場だったら，楽しいだろうなと感じた。どんなものが具体的事業として計上されるのか，事業の組み立てが，社会的弱者である，子ども，お年寄り，障がい者，その中でも大事な女性の視点で事業が組み立てられてうれしく思う。子育てに対するも

のやファザーリングなど、面白い視点であるなど感じている。

それから、男性の地域参画促進事業として、団塊の世代の方の力をお借りして、地域を盛り上げるという発想はうれしいことである。みんなでまちづくり課の推進している事業などと一緒にやったら楽しい事業になるかもしれない。宇都宮市まちづくり市民工房などがやっている事業などを取り入れるとファザーリングなどがおもしろいものになるかもしれない。

マザーズサロンなども大事なことである。子育て中の母親が不安なのは、子どもと一対一で向かい合ってどうしたらいいんだろうという場面である。仲間と一緒に育つ、仲間と一緒に子育てができるという環境が、母親自身に成長にもつながると思う。

それから、女性に対する暴力根絶への取組みの中で、DV、セクハラ、ストーカー、売買春など衝撃的な言葉が出てくるが、このようなことはされたことがない女性が大多数であると思うが、私たちが一番関っていかねばならないのは、自尊感情の低下につながるような言葉を、ずっとあびせられたことによる被害者の自尊感情の低下である。そのような人たちをいかにエンパワーメントしていくかが大事である。是非「言葉による暴力」という項目を、計画の中に入れていただきたい。

例えば、「おまえなんか稼ぎがないのだから、お金なんか使えない。」といわれている女性がたくさんいる。専業主婦であるというだけで、自分にお金が使えない、ましてや、働きに出いくなると、と本人はどんどん後ずさりしてしまう。私なんかダメと思った人間は、家を離れることすら罪悪感に思ってしまう。市民意識調査の中で、80パーセント以上の、暴力を受けたことがないと回答している女性の中でも、実際には自尊感情が非常に低い状態にいる女性がいるのではないかと思う。現場からの生の声を聞く立場として、性別役割分担に縛られていて、今はアンペイドワークであっても、子育てという大事な仕事をしているという自尊感情があれば免れることができるが、それさえもない女性がいる。

また、パートナーから理解されていないと感じる女性が多いことも、市民意識調査でわかっていることであり、女性に対する暴力根絶を重点項目でやるのであるならば、目に見えない言葉の暴力についても、是非入れていただきたい。

(会長)

いくつか事業に沿って、ご意見をいただいた。

事業番号 30 については、今、言葉による暴力について意見が出たが、言葉だけでなく、精神的な暴力「モラルハラスメント」が深刻な問題となっている。になっている。身体的な暴力だけがどちらかというと凄まじいという印象があるが、モラルハラスメントの怖さが色々なところで言われており、それについても、事業の中で検討していただきたい。

ほかにご意見を伺う。

(委員)

事業番号の 11 番について、「かがやき」という教材を小学校 5 年生に配布しているとあるが、市内全域の小学 5 年生に配布しているのか。また、出前講座の内容と、どういう方が出向くのか伺いたい。

(会長)

私も確認したいことがある。これまでは、出前はやっていなくて、かがやきを作って配布していたということか。

(事務局)

「かがやき」は市内全域の小学5年生に学校を通して配布している。今年度からは、合併した旧河内、上河内町にも配布した。また、教師用に指導要領を作成し配布している。出前講座については今年度企画して、いまのところ3件の申込があった。出前講座については、学校教育課とタイアップしてやっている。学校教育課のほうでも、全校対象にやっていきたいということで、計画をたてて今後実施していきたいと考えているが、今年度は、3校の申し出があり、今後実施していく予定である。

(委員)

毎年3校程度ということか。小学校数は現在何校くらいあるか。

(事務局)

今年は先行して3校実施するが、現在小学校は、68校あり、計画を立てて実施していきたい。

(委員)

毎年、全校に実施していかないと、全5年生が学習できないのではないのか。

(事務局)

出前講座だけでなく、家庭科などの時間にやっている学校もある。ただ、どのくらい実施しているか不確定なところもあるので、こちらから出向いて実施していきたいと考えている。

(委員)

事業番号12番に関して、医師会としての話として、性教育に対する学校ごとの温度差があると感じる。性教育サポート事業を実施するにあたって、「内容についてあまり深く踏み込まないでほしい。」とか、「コンドームという言葉は使わないでほしい。」とかの意見があり、できれば性教育サポート事業についても、標準的な教材を作っておいたほうが良いのではないかと感じる。

(事務局)

標準的な教材については作ってはいるが、手法などについて統一性が必要であるというご意見であると思う。教材があっても、実践されなければ効果がないと思われるので、今後の計画の中で検討していきたい。

(委員)

医師会としても、産婦人科医の先生方が、標準的なスライドなどを作っているが、どのスライドを上映するかなどについても、学校のほうから「これを控えてくれ。」などという話もあるようである。

(事務局)

教育委員会、医師会とも整合させながら進めていきたい。

(委員)

4点ほどいかがいたい。事業番号8番の事業について、ビデオの作成とあるが、だれが、どのようなものを作るのか。

事業番号11番の出前講座は、何の目的で誰を対象としているのか。児童生徒を対象としているのであれば、やる意味をどこに求めているのか。3校程度であれば、市がやる意味があるのか。「かがやき」を作成した市がやる意味は。

事業番号15番の事業者訪問は、誰が訪問するのか。

事業番号22番の家事講座等の開催について、35事業中15の講座が出てくるが、全ての講座を実施することができるのか。

(事務局)

事業番号8番については、生涯学習課所管の事業である。誰が作成するかは決まっていないようだが、幼児期、小学校低学年向けなど、子どもの年齢別にビデオを作製したいという話を聞いている。

11番の「かがやき」を活用した出前講座の実施についてであるが、全校に配布して活用してほしい旨依頼をしているところであるが、直接、男女共同参画課で出向き講座を行うことにより、積極的な働きかけを行うという効果を狙っている。

15番の事業者訪問についても、男女共同参画課で実施する予定である。併せて、調査研究の意味もあるので、男女共同参画課の職員が直接、事業所を回って啓発を行いながら実施していきたいと考えている。

22番に関連して、講座が多いのではというご質問をいただいたが、現時点では、全て実施する予定である。5か年の計画であるので、来年度に全て実施するというのではなく、5か年の間に実施していくものである。また、他課にまたがる講座も含まれる。

(委員)

事業番号6番の出前講座は、昨年度はやっていないということだが、具体的には数年前はやっていただけではないかと思う。地区推進委員がいるが、地区とセンターとのかかわり合い、まちづくりの観点から、男女共同参画推進センターだけではない、地区市民センターでの出前講座というものが検討事項になっているのか伺いたい。

18番の勤労者向け啓発事業について、市職員の職場においても育児休暇や介護休暇が求められている状況があるのではないかと思うが、その点について具体的に何かあれば伺いたい。

20番の地域における子育て支援活動の充実について伺いたい。先ほど表参道スクエアにおける取り組みについて説明があったが、中心部にファミリーサポートセンターがあることは喜ばしいが、何かファミリーサポートセンターを使った出前講座など具体的な啓発事業等の検討があるのか伺いたい。

24番の女性の視点を反映したまちづくりの推進については、自主防災会へ働きかけだけでは寂しい。自治会に女性の役職者が少ないなどの課題があり、そういった課題を反映したものにしていきたいと思うがいかがか。

(事務局)

地区市民センターで実施しているワークショップ形式における地域参画塾においては、地域推進委員がファシリテーターとしてご参加いただいている。出前講座については、市民からの申し出により、希望の会場に出向いて講座を実施している。その中には、地区市民センターが会場という場合もある。

(委員)

勤労者啓発事業の中で、行政の職員の問題があると思う。具体的に仕事と生活の調和と出てきたときに、行政の職員の状況はどうかという視点が必要であると思う。

(事務局)

市としても、次世代育成行動計画を策定済みである。ところが、この計画に基づき職員が年次休暇がとれているか、男性職員の育児参加休暇がとれているかというところあまり良くない状況である。このため、本計画においても、施策の方向1の「男女共同参画の意識づくり」の中に、「市職員への啓発」という項目を設けて、市職員が率先して実践していけるよう啓発を実施していきたいと考えている。

(委員)

「市職員への啓発」という項目を見てみると、ワーク・ライフ・バランスの項目がないので加えてほしい。

(事務局)

補足となるが、勤労者としての市職員に対するワーク・ライフ・バランスに関する研修を行えないかと人事課に働きかけているところである。

事業番号20の地域における子育て支援についてのうち、ファミリーサポートセンター事業については、その事務局が表参道スクエアにあり、活動自体は、会員間で各地域において実施されている。そのファミリーサポートセンターと併設して一時預かり保育事業や児童館事業を行っている。こちらについては、多くのお子さんと保護者の方が訪れる場所であるので、これらの場所を利用した子育て支援のための講座等の実施ができればいいと思うので、意見を参考にさせていただきたい。

事業番号24番については、確かにこの事業だけでは寂しい感もする。もう少し、女性の視点をまちづくりに反映させるための手法を盛り込めたらと思うので、お知恵を拝借し

たい。

(委員)

地方に住むものとして、広報・啓発活動が足りないのではないかと思う。友人5人に「男女共同参画という言葉を知っているか。」と聞いたところ、誰も知らなかった。そのように知らない市民に周知するためには、事業番号6番において、生涯学習センターの講座の中に男女共同参画の視点を入れた講座を開催できるよう働きかけを行ったらいかがか。

地域に密着した講座の中で、男女共同参画について知らない人も、目に触れる機会が得られるのではないか。

また、ファザーリングについては、このような講座をいつどこで実施するのか。働きざかりの男性は参加しづらい状況があり、講座の具体的な実施案が提示されていると良いと思った。

(事務局)

生涯学習センター等への働きかけということに関しては、各センターを巡回して男女共同参画のパネル展や標語イラストコンクールの作品展示などを行っていきたい。また、各センターで実施している講座の中にも、男女共同参画の視点を盛り込んでもらえるよう働きかけたい。

ファザーリング講座の実施については、生涯学習センターなど市民に身近な場所を利用して、できるだけ集まりやすい日時を設定し、実施していきたい。

(会長)

生涯学習センターの講座の中で、男女共同参画の視点は細くなってきているのではないか。男女共同参画という言葉を使うことが難しいために、撤退してきているというところがあるのではないか。

生涯学習の運営審議会に携わっているが、講座では、パソコンや歴史、芸術関連の講座は大変人気がある。男女共同参画は悪戦苦闘してきて、生涯学習の講座においては、今、少し小さく細くなってきた感がある。

(委員)

私の経験になるが、河内地区では、以前、男女共同参画の出前講座をやったことがあるが、人集めは非常に難しいものがある。私の地域では、男女共同参画の意識が薄く、まだまだ理解されていない状況がある。

講座の第1回目をパルティの事務局長に講師をお願いしたような経緯があるが、他のところでは、どのように講座のPRを行っているのかお教えいただきたい。

(会長)

男女共同参画の拠点であるパルティではいかがか。

(委員)

パーティでも出前講座を行っているが、グループや自治会など要望のあったところに向いて行っている。昨年度は、県南や県北から要望があって、3回実施した。参加者からは、「少しずつではあるが気付きになったので、次のステップに繋げたい。」とのお話をいただいている。男女共同参画を知ってほしい人にはなかなか届かないというもどかしさもあるが、地道にやっていきたい。

(会長)

パーティでも、講座のスタイルを変えてきている。数年前は講義スタイルであったが、現在は参加型である。

(委員)

参加型で、実際に自分たちの地域で何ができるかというグループワークを行っていたとき、行動に移してもらえるよう工夫している。

(委員)

それは、どのようなところに声をかけて集まってもらうのか。人集めの工夫について伺いたい。

(委員)

パーティの出前講座の場合は、対象の市町だけでなく、広域実施により、近隣の市町の担当にも声をかけていただき、人集めをしていただいている。

(委員)

以前、男女共同参画の講座をやってくれないかと頼まれたときがあるが、担当者の方に「どのような講座にしたいか。」と聞いたことがある。担当者の方は、お子さんを持っている女性などにも参加していただける講座を開きたいと考えていたので、そういった方にも満足できるような内容の組み立ての講座を実施するから、女性団体連絡協議会だけでなく、保育園の方、学校の方、家庭教育学級の方など、担当の方がチラシを配布できるところ全てに配布していただいきたいとお願いして、そういったところ全てに配布していただいた。そうしたところ、男性の方も数人入っていただいた。

また、講座では、女性団体連絡協議会に所属する先輩女性や若い母親など世代を超えて意見交換ができ、参加者の皆さんは「会えて本当に良かった。」と喜びの声をいただいた。

講座内容については、男女共同参画という言葉は使わず、「自分らしく輝いて生きるためにはどうしたら良いか」というテーマで行った。

(会長)

委員に講師をお願いして、河内地区における男女共同参画の講座を実施したらいかがかと思う。

ほかに意見を伺う。

(委員)

事業番号24番について、女性の視点を反映したまちづくりとあるが、まちづくりは、男性、女性の互いが行わなければならないものであり、男女共同参画の施策であるのだから、「男女共同参画の視点を活かしたまちづくり」などに変えるのはいかがか。

(会長)

この事業に対して、事務局で何かイメージしているものがあるか。

(事務局)

阪神・淡路大震災の際に、避難所の生活の中で授乳スペースがないなど、避難所の経営を男性だけで行ってしまうと、女性がどうしてももらいたいかという視点到欠してしまうということが発覚した。また、本市においては、女性でも防災活動を行っている方はいるが、意思決定の場に参画している女性が少ないという現状がある。このようなことを踏まえて、女性の視点を反映した防災活動の促進を図りたいと考えたところである。

できるだけ男性と女性の違いを明確にしたい意図があるので、「男女共同参画の視点を活かしたまちづくり」という施策名については、参考として伺いたい。

(委員)

防災については、阪神・淡路大震災の際にこの問題はクローズアップされたことから、地域活動における男女共同参画の促進という施策の中に取り入れたことは良くわかるが、まちづくりの推進となったときに、施策が足りないと感じたところである。一番大切なのは、自分の意識、家庭、居住地、地域であり、偏りのない社会づくりを目標にしている男女共同参画基本法であることを考えると、もう少し施策について検討していただきたい。

(委員)

意見として申し上げたい。今回の目玉となっている基本目標Ⅱの「仕事と生活の調和への取組み」について、5つの施策があるが、1番目の施策である「雇用環境の整備と働き方の見直しの促進」は非常に大切なところであり、それ以外の4つの施策とは重さが違うのではないか。施策の重みが伝わるような表現の工夫が必要ではないかと思う。

二つ目として、基本目標Ⅲ「男女が互いを尊重し大切に作る社会づくり」とあるが、これを暴力と健康だけに絞ってしまっているが、いかがか。やはり、ここに人権のことが入る必要があるのではないか。人権が出てくるのは学校教育の部分のみとなっている。

結果として、計画全体が個人対象の施策に偏りすぎているのではないかと感じる。我々が目指す男女共同参画の社会が見えてこない感があり、社会づくりの施策を踏まえた全体の見直しの必要性を感じる。

(会長)

違った視点から意見を述べたい。今回の計画では、女性の暴力根絶を明らかにしたことやワーク・ライフ・バランスを出したことから、施策が明確化をされたと感じている。

最後に事務局から連絡事項等があるか。

(事務局)

前回の審議会の際に、スローガンのお願いをしたが、次回の審議会の際にご意見をお願いできればと考えている。

最後に、次回の審議会の日程は、12月21日を予定しているので、よろしくお願いしたい。

(会長)

たくさんの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。以上をもって審議会を終了する。